

令和5年度 茨城県職員採用試験（高校卒業程度）説明会

～技術職：電気職の概要について～

自身の経歴について

- 採用年度・職種

2020年（令和2年度）高校卒業程度の電気職として入庁。現在4年目。

- これまでの勤務先

2020年 土木部流域下水道事務所 設備課（土浦市）
3年間勤務

2023年 企業局県中央水道事務所 涸沼川浄水場（笠間市）
現在1年目

電気職の主な勤務先

管財課

県庁舎の管理

営繕課

県有施設の工事設計、監督・老朽化施設の更新

企業局

浄水場の維持管理（出先：各水道事務所、浄水場）

下水道課

下水処理場の維持管理（出先：流域下水道事務所、鹿島下水道事務所）

病院局

県立病院等の施設管理

その他にも勤務先はあり、茨城県各地に転勤の可能性ががあります！

仕事の概要

- 電気設備の新設、改築工事の設計及び監督
下水処理施設、水処理施設の設備の設計や工事監理
→現在は老朽化した設備の改築事業が主体
- 施設の維持管理
電気設備の修繕工事や点検など
→計測機器や部品の交換

仕事の概要

- 外部団体の研修へ参加。
私がい実際に参加した研修では**2週間**のものもあります！
- 業務に関する資格の取得。
※業務をするうえで必ず必要になる資格はあるのか？
→基本はありません。ただし、資格を持っていないとできないこともあるため、持っているに越したことはないです！（第3種電気主任技術者）
- その他、施設見学対応やホームページ作成など。

採用 1 年目の主な業務について

- 新型コロナウイルスの影響で研修はほとんど中止
- フレッシュマントレーナー制度
先輩職員が 1 名マンツーマンで業務指導・育成する制度
- 先輩職員が担当している現場・打合せに同行
- 実際に工事を発注、現場監督を実施

工事発注の流れについて



- ・ 主要機器の選定
- ・ 平面図作成（配電経路、機器設置）
- ・ 単線結線図作成 など

工事発注の流れについて



- ・ メーカーへ見積依頼
- ・ 数量計算書の確認
- ・ 仕様書の確認 など

工事発注の流れについて



- ・ 発注する工事を公開し、建設業者を決定

工事の監督業務について

機器製作

- 機器製作承諾図等の確認
- 工場検査の立会

現場施工

- 施工計画書、施工承諾図、施工体制台帳の確認
- 施工状況の確認（搬入検査、機器据付状況、試運転立会）
- 中間、完成検査

仕事の風景（自家発電設備設置工事）



機器搬入作業



完成

仕事の風景（汚泥処理中央監視制御設備改築工事）



中間検査（書類）



中間検査（現場）

仕事の風景（汚泥処理中央監視制御設備改築工事）



着工前



完成

茨城県庁に就職して感じたこと

- 工事の設計や監督では、さまざまな知識が求められる。
- 公務員と聞くとデスクワークのイメージがあったが実際は現場での仕事も多い。
- わからないことは積極的に先輩職員に質問することが大事。
- 他職種の職員や業者の方と調整を取りながら業務を進めていくため、コミュニケーション力が重要。
- 設備を動かすためには電気設備は必要不可欠であるため、自身で管理している設備が生活を支えているのに責任とやりがいを感じる。

ご清聴ありがとうございました